

次官より第一師團長及憲兵司令官

、通牒

天皇陛下来ル四月一日東京御發車奉奈良
縣下、行幸、皇后陛下来ル三月二十九日東
京御發車三重縣良兩縣下並京都府下、
行啓可被為至旨被仰出（御發車時刻、東
京市内御道筋著並御駈鞏一停車場及
御發車時刻）別紙、通牒候條及通牒候
也

三月廿日

次官より東京衛戍總督及近衛師團
長、通牒

前同文但(一)内ヲ「御發著割」並東京市
内御道筋書ニ作ル

三月廿四

次官ヲ第十五、第三、第十六御圍長ハ

通條

前同文但(一)内ヲ「御發著割」並御駢
琴平停車場及御發著時刻ニ作ル

陸軍省圖書部第八九九號
三月廿四

陸軍



行幸御發著割

四月一日

午前八時三十五分

御發 轎

午前八時五十分

東京停車場御發車

午後五時五十分

名古屋停車場御著車

行在所名古屋離宮

四月二日

午前十時四十分

名古屋離宮御發轎

午前十一時

名古屋停車場御發車

午後三時三十分

奈良停車場御著車

行在所奈良俱樂部

四月三日

午前八時二十五分

奈良行在所御發輦

午前八時四十五分

奈良停車場御發車

午前九時三十四分

畝傍停車場御著車

神武天皇山陵御親祭

午前十一時十分

畝傍停車場御發車

午前十一時五十八分

奈良停車場御著車

奈良行在所還輦

四月四日

奈良御駐輦

四月五日

四月六日

午前七時三十分

奈良行在所御發轎

午前七時五十分

奈良停車場御發車

午前十一時五十分

名古屋停車場御著車

行在所名古屋離宮

午前七時四十分

名古屋離宮御發轎

午前八時

名古屋停車場御發車

午後五時

東京停車場御著車

還

幸

三月二十九日

行啓御發著割

午前八時三十五分

御發輿

午前八時五十分

東京停車場御發車

午後五時五十分

名古屋停車場御著車

御泊所 名古屋離宮

三月三十日

午前十時四十分

名古屋離宮御發輿

午前十一時

名古屋停車場御發車

午後二時五十分

山田停車場御著車

三月三十一日

御泊所

神宮司ノ廳

午前九時

宇治山田御泊所御發輿

豐受大神宮御參拜

午後一時四十分

宇治山田御泊所御發輿

皇大神宮御參拜

四月一日

午前八時二十分

宇治山田御泊所御發輿

午前九時

山田停車場御發車

午後一時四十分

奈良停車場御發車

御泊所

奈良俱樂部

四月二日

奈良御滞在

四月三日

午前八時二十五分 奈良行在所御發輿

午前八時四十五分 奈良停車場御發車

午前九時三十四分 畝傍停車場御著車

神武天皇山陵御參拜

午前十一時十分 畝傍停車場御發車

午前十一時五十八分 奈良停車場御發車

奈良行在所還御

四月一日

四月五日

奈良御滞在

午後一時十分

奈良御泊所御發輿

午後一時三十分

奈良停車場御發車

午後二時五十二分

京都停車場御發車

御泊所 京都皇宮

四月六日

京都御滞在

四月七日

京都御滞在

四月八日

四月九日

京都御滞在

午前七時五十分

京都皇宮御發輿

午前八時二十分

京都停車場御發車

正午十二時

名古屋停車場御發車

御泊所名古屋離宮

四月十日

午前七時四十分

名古屋離宮御發輿

午前八時

名古屋停車場御發車

午後五時

東京停車場御發車

還御

東京市内御道筋

行幸

正門ヨリ馬場先門跡ヲ出テ左へ堀端通右へ東

京停車場

行啓 (北御車寄)

坂下門ヨリ右へ堀端ニ沿ヒ左へ馬場先門跡ヲ出
テ左へ堀端通右へ東京停車場

0222



大臣

次官



軍事



陸軍省領壹第三一〇

陸軍省
陸軍部
陸軍省
陸軍部

二七六號

三月廿三日

陸軍省領壹第三一〇

大正五年三月二十二日

宮内大臣男爵波多野敬直



陸軍大臣岡市之助殿

通牒

天皇陛下
四月一日東京御發聲

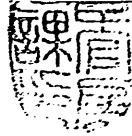
奈良縣之行幸

皇后陛下
三月二十九日東京御

發輿
三重奈良兩縣之
京都府下

0222-2

0222



次官

大臣

軍事



陸軍省 領責

陸軍省 領責

二七六

三月廿三日

大正五年三月二十二日

宮内大臣男爵波多野敬直



陸軍大臣岡市之助殿

通牒

天皇陛下に奉り四月一日東京御發聲

奈良縣公一行幸

皇后陛下に奉り三月二十九日東京御

發聲三重奈良兩縣に於京都府下



陸軍省 領責

へ行啟可被為立旨被仰出御發若割
後東京市内御道筋書別紙ノ通

(四大)

東京市内御道筋

行幸

正門ヨリ馬場先門跡ヲ出テ左へ堀端通右へ

東京停車場

行啓

〔正御車寄〕

坂下門ヨリ右へ堀端ニ沿ヒ左へ馬場先門跡ヲ出テ左へ堀端通右へ東京停車場

行幸御發著割

四月一日

午前八時三十五分

御發輦

午前八時五十分

東京停車場御發車

午後五時五十分

名古屋停車場御著車

行在所名古屋離宮

四月二日

午前十時四十分

名古屋離宮御發輦

午前十一時

名古屋停車場御發車

午後三時二十五分

奈良停車場御著車

行在所奈良俱樂部

四月三日

午前八時二十五分

奈良行在所御發轎

午前八時四十五分

奈良停車場御發車

午前九時三十四分

畝傍停車場御著車

神武天皇山陵御親祭

午前十一時十分

畝傍停車場御發車

午前十一時五十八分

奈良停車場御著車

奈良行在所還幸

四月四日

奈良御馬輦

四月五日

午前七時三十分

午前七時五十分

午前十一時五十分

行在所名古屋離宮

奈良行在所御發輦

奈良停車場御發車

名古屋停車場御著車

四月六日

午前七時四十分

午前八時

午後五時

名古屋離宮御發輦

名古屋停車場御發車

東京停車場御著車

0228

還

幸

神皇正統記

元月五十一日

平家朝

皇太子御成婚

平家朝

皇太子御成婚

皇太子御成婚

平家朝

皇太子御成婚

平家朝

皇太子御成婚

平家朝

皇太子御成婚

0231

0232

新編
群
衆
史

0233

四
月
十
日

大
正
十
年
四
月
十
日

大
正
十
年
四
月
十
日

大
正
十
年
四
月
十
日

四
月
十
日

大
正
十
年
四
月
十
日

四
月
十
日

大
正
十
年
四
月
十
日

四
月
十
日

大
正
十
年
四
月
十
日

大
正
十
年
四
月
十
日

大
正
十
年
四
月
十
日

0234

近衛師團長、達

天皇皇后兩陛下神武天皇山陵へ、皇后陛下神宮へ行幸啓被爲在候ニ就テハ儀仗隊差遣ニ関シ左ノ通心得ハシ

- 一、近衛騎兵聯隊ヨリ大尉一、中少尉一、特務曹長一、曹長以下三十二名ヲ四月三日午前九時迄ニ前傍停車場ニ差遣シ同停車場山陵間、儀仗ニ任セシムヘシ
- 二、近衛騎兵聯隊ヨリ中尉一、特務曹長一、下士以下十六名ヲ三月三十一日午前八時三十分迄ニ伊勢山田神宮司廳ニ差遣シ皇后陛下神宮御参拜ノ節儀仗ニ任セシムヘシ

八九五 總

三月廿三日

副官ヨリ述衛師團參謀長、通牒

三月廿七日附陸普第八五號ヲ以テ 天皇皇太后兩陛下行
幸啓ニ就キ儀仗隊差遣ニ関スル件達相成候趣
右儀仗隊ノ出發歸還ニ関シ左記ノ通承知相成度
候也

進ラ鐵道輸送ニ関シテハ貴師團ニ於テ計畫實施相
成度又設營、為所要、最少数限人員ヲ先^察セシムル
トシ得南山田市及畝傍停車場ニハ第三師團第十六師
團ヨリ儀仗隊トシテ聯隊長ノ指揮スル歩兵一大隊差
遣セシメラレ候條為念申添候

陸

軍

左記

一、宇治山田ニ差遣スヘキ儀仗騎兵隊ハ三月二十九日
 山田ニ到着翌^同三十一日 皇太后陛下御泊所御歸還
 ノ後同地出發歸還スルモトス

二、畝傍ハ差遣スヘキ儀仗騎兵隊ハ四月二日迄ニ畝傍
 ニ差遣シ^聞三日 畝傍停車場ヨリ神武天皇山陵
 ニ至ル間儀仗ニ服務シタル後同日出發歸還
 セシムルモトス

陸軍省 陸軍部 第八九六號

三月廿一日



0239



簡

第三〇號其五

三月廿八日

第二八號

電報譯

之

月二八

日午前後

二時

分發

主記

大臣宛

發信者第十五師中長

三月廿八日、儀仗小隊指揮員沼津、土屋大尉、
靜宮、大島大尉、濱松、河本大尉、安田文

海軍



閣

卷第二一。號其四

三月廿八日

第一師團
參謀部

參發第

三四

號

陸軍大臣
第九號

儀仗隊指揮官氏名、件報告

大正五年三月廿八日第一師團長仙波太郎

陸軍大臣岡市之助殿

来ル三月廿九日皇后陛下三重奈良兩縣下姓

京都府へ行啓及還幸、際當師團員東京山北

停車場へ差遣ス儀仗隊指揮官氏名左記、通

り及報告候也

左記

東京停車場 歩兵第三大隊 歩兵大尉沖又中信

山 北 全 歩兵大尉金田武

陸軍

0241

軍事

陸軍

第三の號

第九號

電報譯

三月二十九日午前

九時

五分

著

陸軍大臣宛

發信者

佐々木

第三師團長

吉野隊隊長病ニ付山田ノ儀仗隊ヲ隊所古座中佐ニ代理指揮セシム

陸軍

242

343



老第三一〇號七

參謀部 參發第 三五 號

三月三十日

軍部 第五九号

儀仗隊差遣ノ件報告

大正五年三月廿九日 第一師團長 仙波 太郎

陸軍大臣 岡市之助 殿

天皇陛下未ル四月一日奈良縣下へ行幸茲四月六日

還幸ノ際當師團ヨリ山北停車場へ差遣ス

ヘキ儀仗隊指揮官左記ノ通ノ考條及報告

候也

左記

行幸ノ際 歩兵第一聯隊 歩兵大尉 野木鷹之助

還幸ノ際 歩兵大尉 山内源 作

陸軍

大坂御所
三月廿八日

御前

三月廿八日奉發第三回拜り及び報告置

候皇后陛下下還幸際山北停車場へ

差遣する儀伏隊指揮官步兵大尉金

田武が若大尉相良日都磨に変更致し

秀一及報告秀也

御前
大坂御所
三月廿八日

御前
大坂御所
三月廿八日

御前
大坂御所
三月廿八日

御前
大坂御所
三月廿八日

御前
大坂御所
三月廿八日

御前
大坂御所
三月廿八日

御前
大坂御所
三月廿八日

御前
大坂御所
三月廿八日

御前
大坂御所
三月廿八日

御前
大坂御所
三月廿八日

御前
大坂御所
三月廿八日

御前
大坂御所
三月廿八日

閣



第 三 一 〇 番 其 九

三 月 三 十 日

第 一 一 號

電 報 譯

三 月 廿 九 日 午 前 後 三 時 分 著

大 臣 宛

發 信 者

十 五 休 本 長

當 師 管 內 各 御 駐 軍 停 車 場 三 於 ケル 御
言 衛 無 事 終 也

陸

軍

長第三一〇番其八

三月三日

第九號

電報譯

二月廿九日午前午後
二時五分著

大五宛

發信者

三休未長

皇后陛下御安著在うせうル

陸

軍

職

行幸行啓

和印

卷第三十一 第三

衛發第七二號

三月廿五日

行幸行啓ニ付儀式施行ニ関スル件通牒

大正五年三月二日

東京衛戍總督部參謀木原仙八

陸軍省副官和田龜治殿

天皇陛下来レ四月一日午前八時三十五分宮城御發車同八時五十分東京停車場御發車

大参良縣下、行幸 皇后陛下来レ三月十九日午前八時三十五分宮城御發

輿同八時五十分東京停車場御發車三重奈良兩縣下茲京都府下、行啓被為

在候ニ付在京將校同相當官八行幸行啓當日左ノ位置ニ參集ニ奉送相成度

依命及通牒候也

上長官以上 東京停車場構内

士 官 東京停車場御車寄前北側

陸軍

0246

實慶詩

和印

和印

和印

和印

閱

禮部

四月十日

第一九號

電報譯

四月九日

午前午後

時五分

陸軍大臣

宛

發信者

第三師團長

皇后陛下御安著アウセウ

陸軍



閣

光緒三十一年三月十一日

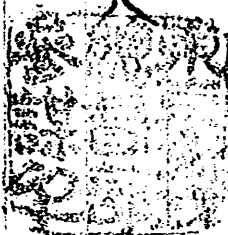
衛發第七五號

四月四日

還幸還御ニ付儀式施行ノ旨ニ付通牒

大正五年四月一日東京衛戍總督部參謀木原仙八

陸軍省列友和田電治版



天皇陛下未ル四月六日午後五時東京停車場御着車還幸

皇后陛下未ル四月十日午後五時東京停車場御着車還御被為在候ニ

付在京將校同相當官ハ還幸還御ノ當日左ノ位置ニ參集シ奉迎相

成度依命及通牒候也

上長官以上 東京停車場構内

士官 東京停車場御車寄前南側

陸

軍

関



電報譯

四月

一日 午前午後

四時

三分

第四三號



陸軍大臣宛 發信者 十五時五分
 尚師管内各御駐紮 停車場に於て
 心正警衛無事 濟

陸

軍

0250

開



電報譯

口

月

一

日

午

前

後

七

時

五

分

分

著

發



第五八號

天皇陛下

市海軍省アウセロ

發信者 三味屋長

陸

軍

第 三 一 〇 番 三

四 月 四 日

第 一 九 號

電 報 譯

四 月 二 日 午 前 後

十 時 十 分 著

大 尾 宛 發 信 者 三 師 名 長

天 皇 降 下 無 事 申 奏 奉 上 三 師 名 長

押